

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	形質芽細胞の細胞形態を呈した多発性骨髄腫症例の予後の検討			
2. 対象患者	平成22年4月1日～平成31年3月31日までの10年間に当科で初診・治療した多発性骨髄腫29例の患者様を対象といたします。			
3. 対象となる期間	平成22年 4月 1日 ～ 平成31年 3月 31日			
4. 実施診療科等	消化器内科, 血液内科, 膠原病内科			
5. 研究責任者	氏名	山形和史	所属	消化器内科, 血液内科, 膠原病内科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	共同研究機関はありません			
7. 研究の意義	多発性骨髄腫の患者様の、顕微鏡で観察される腫瘍細胞の形態学的特徴と病気の悪性度の関係を明らかにします。			
8. 研究の目的	多発性骨髄腫の悪性度(病期)は、採血検査(LDH、 $\beta$ 2-ミクログロブリン)と染色体異常の種類によって分類する改訂版国際病期分類(R-ISS)を用いて行われることが主流です。しかし、この分類には、顕微鏡検査で観察される腫瘍細胞の形態学的特徴は加味されていません。私たちは、腫瘍細胞の形態と悪性度に強い関連があると考えています。このため、当院で診断・治療された多発性骨髄腫の患者様の腫瘍細胞の形態学的特徴と染色体異常の種類を合わせて検討し、病気の悪性度について新たな知見を見つけ出します。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	患者様の診療録より情報(年齢、性別、骨髄検査による腫瘍細胞の形態の特徴、染色体異常の種類、採血検査や画像検査による病気の拡がりなど)を得て解析いたします。新たに、追加検査をお願いすることはありません。			
10. 個人情報の保護	収集する情報には、氏名や住所等の個人情報は含まれません。研究成果を公表する場合も同様に個人情報は含まれない形で公表されます。患者様より拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外しデータを削除します。ただし、匿名化のうえ解析済みの場合や研究成果公表済みの場合は、データを削除できないことがありますのでご了承ください。			
11. 利益相反に関する状況	利益相反はありません。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 消化器内科, 血液内科, 膠原病内科 山形和史			
	電話	0172-39-5053	FAX	0172-37-5946